

第23回 近代民主主義の精神

- 1 A 16～18世紀のヨーロッパにあらわれた、絶大な権力をもつ君主による中央集権的な政治形態を何というか。 絶対主義
- 2 B 王の権力は神から授かったものであり、王の統治権は正当であるという考えを何というか。 王権神授説
- 3 A 17～18世紀のヨーロッパ各国におこった、絶対王政打倒のための政治変革を何というか。 市民革命
- 4 B 一定の財産を所有して市政を担っていた人びとで、革命の中心となった中産階級の人びとを何というか。 市民階級(ブルジョワジー)
- 5 A 1642年、チャールズ1世の暴政に反対して、クロムウェルを指導者としておこされた革命を何というか。 ピューリタン(清教徒)革命
- 6 A ジェームズ2世の専制とカトリック政策に反対して、1688年に行われた革命を何というか。 名誉革命
- 7 A 人間の本性である理性に根拠をおく普遍的な法で、絶対王政批判の理論的武器となった概念は何か。 自然法
- 8 C 理性に根拠をおく普遍的法である自然法に対して、歴史的・人為的に定められた法を何というか。 実定法
- 9 B 自然法を一般法体系の上に基礎づけようとした、近代自然法・国際法の父とよばれているオランダの法学者は誰か。 グロティウス
- 10 B ドイツ三十年戦争の反省から生まれた、国際法に関するグロティウスの主著を何というか。 『戦争と平和の法』
- 11 A 国家・社会の成立を個人の自由意志にもとづく相互契約におく思想を何というか。 社会契約説
- 12 A 社会契約思想が想定する、国家や社会が成立する以前の状態を何というか。 自然状態
- 13 A 現代の基本的人権のことであり、この状態において人間がもっていたとされる権利を何というか。 自然権
- 1 A 自然法思想と社会契約説の立場にたって国家の成立を論じ、自然権の譲渡と王権の絶対性を説いて専制君主を認めたイギリスの思想家は誰か。 ホッブズ
- 2 B 自分の生命を維持し守ろうとすることで、ホッブズによって自然権とされた権利を何というか。 自己保存
- 3 A 能力において平等につくられている人間が、共通の権力のない状況で陥る、人間が人間に対して狼であるような状態をホッブズは何と表現したか。 万人の万人に対する戦い
- 4 A 秩序維持のために各人から自然権の全面的な譲渡を受けた国家は強大な権力をもつ怪物となるが、ホッブズの主著の書名ともなっているこの怪物を何というか。 リヴァイアサン
- 1 A イギリス経験論の先駆けであり、認識論においては精神白紙説をとねえ、政治論においては社会契約説によって名誉革命を擁護した哲学者は誰か。 ロック
- 2 A 王権神授説を批判し、社会契約説を展開したロックの著書を何というか。 『統治論(市民政府二論)』
- 3 C 国家・社会に生活するものは、統治者も被治者もすべて法律に拘束されるという原則を何というか。 法の支配
- 4 A 自由意志にもとづく契約によって成立した政府が、人びとの信頼を得て自然権の委託を受けることを何というか。 信託
- 5 A 人びとの信頼に反して政府が権力を濫用するとき、自然権の委託を破棄して政治体制を変更することのできる革命権ともいわれる権利を何というか。 抵抗権
- 6 B ロックの抵抗権の思想を盛りこんだ、1776年の宣言を何というか。 アメリカ独立宣言
- 1 B フランス革命前の絶対王政下における、多くの矛盾をかかえた社会体制を何というか。 アンシャン＝レژیーム

2 A	無知にもとづく伝統的な因習や偏見からの理性による解放をめざした、17世紀末から18世紀にかけての思想潮流を何というか。	啓蒙思想
3 A	ロックの影響を受け、国家権力を独立の機関に分散することを説いたフランスの啓蒙思想家は誰か。	モンテスキュー
4 A	立法・行政・外交の分立を考えたロックに対して、モンテスキューは立法・行政・司法の分散を考えたが、この権力の分散化を何というか。	三権分立
5 B	権力の分散について書かれたモンテスキューの著書を何というか。	『法の精神』
6 A	自然科学的な認識にたって、宗教的偏見や偏狭な学問的独断、あるいは絶対主義の矛盾を批判したフランスの代表的啓蒙主義者は誰か。	ヴォルテール
7 C	政治や宗教の自由、科学的精神の重要性を説いてフランス社会を批判したヴォルテールの著書を何というか。	『哲学書簡』
8 B	フランス啓蒙期に編纂された、広範な分野の学問・技術・芸術に関する辞典の編纂にかかわった啓蒙思想家たちのグループを何というか。	百科全書派
9 C	生涯を『百科全書』編纂にささげ、中心的な働きをした啓蒙思想家は誰か。	ディドロ
10 C	ディドロを助け、『百科全書』の「序論」を執筆した人物は誰か。	ダランベール
1 A	文明の社会悪を批判し、自然状態にあった自由で平等な社会を理想として、独自の社会契約説を展開したフランス啓蒙期の思想家は誰か。	ルソー
2 A	文明社会における私有財産制の発生が、暴力と不平等をもたらしたと論じたルソーの著書を何というか。	『人間不平等起源論』
3 A	一般意志による市民的自由獲得の経緯を、独自の人間観・社会観によって論じたルソーの著書を何というか。	『社会契約論』
4 A	子供の自然な本性にしたがって行われる教育のあり方について論じたルソーの著書を何というか。	『エミール』
5 B	ルソーがしめした「自己愛」とならぶ自然状態における人間の基本感情を何というか。	あわれみの情(同情)
6 B	自己愛と同情に溢れ、自由で平等な自然の状態に帰ることをとねえたルソーのことばを何というか。	「自然に帰れ」
7 B	個人的欲望を実現しようとする意志をルソーは何と表現したか。	特殊意志
8 B	個人的欲望が集まった意志をルソーは何と表現したか。	全体意志
9 A	公共の利益のみの実現をはかる意志をルソーは何と表現したか。	一般意志
10 B	自然状態における自由を放棄し、一般意志において契約を結んだ人びとが獲得する自由を何というか。	市民的自由
11 B	政治上の最終決定権である主権は人民にある、という考えを何というか。	人民主権
12 A	分割したり譲渡したりできない一般意志にもとづいて、主権者である民衆が直接政治に参加する政治の形態を何というか。	直接民主主義
13 A	自由・平等・博愛の理念を掲げ、絶対王政打倒をめざして行われた1789年勃発の革命を何というか。	フランス革命
14 B	アメリカ独立宣言とならんで人権の保障を確立した歴史的な文書で、ルソーの影響を受けて自由権の集大成をなしたといわれる宣言文を何というか。	フランス人権宣言